

## 令和5年度 第2回鶴岡市学校給食センター運営委員会

日時：令和6年2月15日（月）午後3時～

場所：学校給食センター 2階会議室

1. 開会 （所長補佐）

2. あいさつ （教育長）

3. 報告 （議長 委員長）

報告第1号：令和5年度鶴岡市学校給食センター運営状況について（資料により説明）

議長：ただいまの報告第1号「令和5年度鶴岡市学校給食センター運営状況について」ご質問等がございましたらお願いいたします。

ご質問、ご意見等がないようですので、報告第1号を終了いたします。

報告第2号：令和6年度学校給食費について（資料により説明）

議長：報告第2号「令和6年度学校給食費について」、ご質問等がございましたらお願いいたします。

委員：学校の集金額が下がることで保護者の納める意欲も高まると感じています。給食費無償化の期限はあるのでしょうか。

所長：子育て施策を進めていく中で、今後も継続して実施したいと考えています。来年度分については3月議会に提案してくことになるので、議決後に実施決定となります。

委員：これまで校長会で公会計化システムの導入を要望してきたところであり、給食費の無償化はありがたいと思っています。無償化によって給食に対する感謝の気持ちが薄れてしまうという課題については学校できちんと指導したいと思います。

議長：他にご質問等がないようですので、報告第2号を終了いたします。

報告第3号：令和7年度学校給食センターの稼働日（案）について

報告第4号：県立致道館中学校への給食提供について

報告第5号：令和6年度鶴岡市学校給食センターの給食配送計画について

報告第6号：給食だよりのペーパーレス化について（資料により説明）

議長：報告第3号「令和7年度学校給食センターの稼働日（案）について」から報告第6号「給食だよりのペーパーレス化について」、ご質問等がございましたらお願いいたします。

委員：教育計画については、各学校で前年の夏ごろから立案している状況であり、早期に給

食センターの稼働予定日を提示していただけるとはありがたいと思います。今後、校長会でも示していきたいと思います。

異常気象への対応などにより給食が必要な日も想定されるため、センターごとに日程調整できる余地を残していただきたいと思います。

所長：令和6年度分については、日程調整にご協力いただき感謝いたします。その際に、早期の日程案提示の要望がありましたので、この場で提示させて頂いたところですが、こちらからも4月以降の校長会でも提示したいと考えています。

給食が提供できないという事態を避けるために、各センターにおいて点検・修繕等に一定のメンテナンス期間が必要であることについてはご理解をお願いいたします。

委員：学校現場として5時間目授業をベースとして教育課程を組んでおり、これまでより多く学校に来ないと必要日数を消化できない状況となっています。示していただいた稼働予定日では不足も考えられるので、交渉の余地を残してほしいと思います。

また、保護者に弁当をお願いする場合は、校長名で通知することとなりますが、その際は市からのお知らせもあるとありがたいです。

所長：現在のところ稼働日が確定しているものではないので、今後、学校の希望に近づけられるようセンターごとに日程調整も可能としたいと考えています。

また、どうしても給食が必要という場合には、防災食などで対応するなどの方法も検討しているところです。

教育長：現場にいた者の考えとして、授業日数201日は少ないと感じており、少なくとも205日程度は必要だと思います。センターを208日程度稼働するよう調整の余地があると学校側としては助かるのではないかと思います。

議長：ほかにご質問等がないようですので、第3号から第6号までの報告を終了します。

#### 4. 協議（議長 委員長）

議長：続きまして、4の協議に入りたいと思います。議題1号「令和6年度学校給食センターの運営方針（案）について」事務局より説明をお願いいたします。

議題1号：令和6年度学校給食センターの運営方針（案）について（資料により説明）

議長：それでは、ただいまの議題1号「令和5年度学校給食センターの運営方針（案）について」委員の皆様より、ご質問等がございましたらお願いいたします。

委員：令和5年度方針から変更している点はどこですか。

所長：給食費の無償化と額について変更しています。

議長：他にご質問がないようですので、4の協議を終了いたします。

#### 5. 意見交換（進行 所長）

新鶴岡市学校給食センター整備基本構想の基本方針について（資料により説明）

所長：郷土食・行事食に関しまして、ご意見等がございましたらお願いいたします。

委員：今の子どもは家で食べないものは給食でも食べられないと感じており、一口だけでも食べてみようという指導をしています。小さい時に食べられた子は、大きくなってからいろいろな食事を食べることができると聞いたことがあり、実践しています。

委員：郡部でも核家族化が進んでおり、伝統食など食べたことのない子が増えてきています。「切りざんしょう」は好んで食べてくれませんが、一部の児童は「おいしく食べられたよ」と言ってくれます。食は経験することが重要だと感じています。

委員：寒だら汁や納豆汁が苦手でも、家では食べられなくとも学校では食べてくるのだと聞いています。

委員：自分の子どもは家では偏食気味ですが、学校では食べてきていると聞いています。「練り切り」が給食で出た時は、家で同じものを買って食べました。やはり経験が大事だと感じています。

所長：次に、地場産物を使った給食や取り入れてほしい給食について、ご意見等がございましたらお願いいたします。

委員：あつみっこ給食センターでは、そのままでは苦手な温海カブをポテトサラダやシチューに入れるなど工夫してもらっています。給食センターの統合により温海地域独自の献立が食べられなくなるとさみしく感じます。

委員：鼠ヶ関産のワラサのフライとかサバの味噌煮はおいしく食べていると思います。

所長：次に、センター見学や展示についてご意見等がございましたらお願いいたします。

委員：中学生になると施設見学に行かない状況にありますが、食文化やその歴史、地域食の誇りを醸成できるような施設・仕組みができればよいと感じます。

また、実際に働く方の労働環境も含め、児童生徒から何を学んでもらいたいのかを市民から募るなどして明確にしていくことが必要だと思います。

委員：現在、栄養教諭の学校訪問時に栄養指導を行ってもらっており、その際に食文化などについても触れてもらうことでも良いと思います。

また、小学校低学年でセンターを訪問していますが、その時に給食を食べられればよいと思います。

所長：今後、検討していきます。

所長：次に、災害対応についてご意見等がございましたらお願いいたします。

委員：本地域においては大規模な地震が30年以内にいつ来てもおかしくない状況であるため、医療・介護現場では数日から一週間分の保存食が必要とされています。

学校給食においては、長くとも学校で1晩を明かすことが想定されること、給食センターに非常食を備蓄した場合輸送が必要になことなどの視点から検討してみてもどうかと思います。

また、被災後、学校が始まって数日後くらいには給食を提供したいのではないかと考えられますが、現在の耐震基準を考えると施設に大きなダメージを受けることはないのではないかと思います。

所長：その他、新センターに関する全般に関してご意見等がございましたらお願いいたします。

委員：学校ではSDGsを推進しており、残飯を少なくしていくには食べきれる量を提供して

いくことが必要であると思います。

教育部長：今後、食品ロスが少なくする取り組みについて検討したいと思います。

委員：基本方針1に記載のあるリスク分散についてどのような内容を示しているのか、整理しておく必要があると思います。

## 6. その他

永寿教育部長が令和6年度の教育関連予算について説明（資料なし）

（閉 会）